

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	測量学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0092			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建設システム工学科			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	堤隆著「改訂測量学Ⅰ」(コロナ社), 岡林巧著「改訂測量学Ⅱ」(コロナ社)						
担当教員	粟野 周一						
到達目標							
1 平板測量の器械の据付と取扱いを説明できる 2 細部測量の方法、誤差を説明できる 3 トラバース測量を説明できる 4 閉合トラバースの計算ができる 5 測定結果から、面積や体積の計算ができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	平板測量の器械の据付と取扱いを十分に説明できる		平板測量の器械の据付と取扱いを説明できる		平板測量の器械の据付と取扱いを説明できない		
評価項目2	細部測量の方法、誤差を十分に説明できる		細部測量の方法、誤差を説明できる		細部測量の方法、誤差を説明できない		
評価項目3	トラバース測量を十分に説明できる		トラバース測量を説明できる		トラバース測量を説明できない		
評価項目4	閉合トラバースの計算が十分にできる		閉合トラバースの計算ができる		閉合トラバースの計算ができない		
評価項目5	測定結果から、面積や体積の計算が十分にできる		測定結果から、面積や体積の計算ができる		測定結果から、面積や体積の計算ができない		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (B)							
教育方法等							
概要	測量は建設分野における設計・施工・維持管理において必要とされる技術である。測量学Ⅰ、Ⅱ、および測量実習で測量学概説・距離測量・水準測量・平板測量・角測量・トラバース測量・三角測量などの測量方法と面積体積の計算について学習する。						
授業の進め方・方法	【授業方法】 主にトラバース測量, 面積及び体積の計算方法について学ぶ。 【学習方法】 教科書や授業中の演習課題を中心に学習すること。						
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 2回の定期試験 (70%), 演習等 (30%) を評価方法とする。試験時間は50分とする。到達目標の各項目について, 理解や計算の到達度を評価 基準とする。 【備考】 毎授業には電卓を持参すること。 【教員の連絡先】 内線電話 (090-8821-9876) e-mail: awanouhei アットマーク ares.eonet.ne.jp (アットマークは@に変えること)						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	平板測量 (器具、平板測量の方法)			1	
		2週	平板測量 (平板測量の方法)			1	
		3週	平板測量 (細部測量、誤差の取扱)			2	
		4週	トラバース測量 (トラバース測量の種類)			3	
		5週	トラバース測量 (トラバース測量の手順)			3	
		6週	トラバース測量 (トラバース測量の計算)			4	
		7週	トラバース測量 (トラバース測量の計算)			4	
		8週	課題学習				
	2ndQ	9週	トラバース測量 (トラバース測量の計算)			4	
		10週	トラバース測量 (面積計算)			5	
		11週	トラバース測量(演習)			4	
		12週	面積と体積の計算 (面積の計算)			5	
		13週	面積と体積の計算 (面積の計算)			5	
		14週	面積と体積の計算 (体積の計算)			5	
		15週	面積と体積の計算 (演習)			5	
		16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	測量	種類、手順および方法について、説明できる。	4	前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11	
				測定結果から、面積や体積の計算ができる。	4	前11,前12,前13,前14,前15	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0